

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

大学名		倉敷芸術科学大学		設置者名		学校法人加計学園			
学部・学科等の名称等			認定を受けている免許状の種類・認定年度		免許状取得状況・就職状況 (平成21年度)				
学部	学科等	入学定員	免許状の種類	認定年度	卒業者数	免許状取得者数		教員就職者数	
						実数	個別		
芸術学部	美術工芸学科	40人	中一種免(美術)	平成20年度	/	/	/	/	
			高一種免(美術)	平成20年度					
	デザイン学科	30人	中一種免(美術)	平成20年度	/	/	/	/	
		高一種免(美術)	平成20年度						
	メディア映像学科	30人	高一種免(情報)	平成16年度	0人	0人	0人	0人	
産業科学技術学部	IT科学科	30人	中一種免(数学)	平成13年度	0人	0人	0人	0人	
			高一種免(数学)	平成13年度			0人		
			高一種免(情報)	平成13年度			0人		
	起業経営学科	30人	高一種免(公民)	平成16年度	0人	0人	0人	0人	
	観光学科	45人	高一種免(公民)	平成20年度	/	/	/	/	
生命科学部	生命科学科	45人	中一種免(理科)	平成16年度	99人	1人	1人	1人	
			高一種免(理科)	平成16年度			1人		
	健康科学科	60人	中一種免(保健)	平成16年度	61人	21人	21人	8人	
			中一種免(保健体育)	平成16年度			21人		
			高一種免(保健)	平成16年度			21人		
			高一種免(保健体育)	平成16年度			21人		
	生命動物科学科	65人	中一種免(理科)	平成18年度	48人	4人	2人	1人	
		高一種免(理科)	平成18年度	4人					
生命医科学科	45人	中一種免(理科)	平成20年度	/	/	/	/		
		高一種免(理科)	平成20年度			/			
入学定員合計		420人	合計		208人	26人	92人	10人	

実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成22年11月1日（月）

実地視察大学：倉敷芸術科学大学

実地視察委員：大原正行委員、宮崎英憲委員

■ 大学の教員養成に対する全般的な状況

<状況>

- ・3学部10学科において教員養成を行っている。

<講評>

- ・全体的に基準を満たしており、適正に運営されている。平成18年の中央教育審議会の答申を踏まえて更なる教職課程の維持向上を目指してほしい。

■ 教員養成に対する理念、設置の趣旨等の状況

<状況>

- ・「一人ひとりの若人が持つ能力を最大限に引き出し、技術者として、社会人として、社会に貢献できる人材を育成する」という建学の理念に基づいて、以下に掲げる教師の養成を目的としている。
 - ・生涯にわたり自ら力量を開発することのできる教師
 - ・専門職にふさわしい実践的指導力の高い教師
 - ・子どもや保護者に信頼される人間性豊かな教師
 - ・地域社会・国際社会に貢献できる教師
- ・「芸術と科学の協調」という教育研究の理念に基づき、芸術系と科学系の学部との壁を低くし、優れたデザイン・センスを有する「数学」「理科」の教師や、統計や実験により検証のできる「美術」の教師を養成することが可能となっている。

<講評>

- ・全学的な教員養成の実施に向けて努力していると思われる。教育研究の理念である「芸術と科学の協調」の実現に向けて引き続き努力してほしい。

■ 教育課程（教職に関する科目等）、履修方法及びシラバスの状況

<講評>

- ・シラバスは丁寧に作られている。
- ・学習指導要領に基づいて指導がなされており評価できる。学校現場を念頭に置きつつ、指導要領の内容が学校の授業の中でどのように生かされるかという方法論まで含めて教授してほしい。

■ 教育実習の取組状況

<状況>

- ・ 中学校3週間（120時間）、高等学校2週間（90時間）
（美術の教育実習については、吉備高原学園高等学校において宿泊型で実施している）
- ・ 教育実習校の確保の方法：同一学校法人内の学校、関連グループ校、協定締結校や協力校を実習校として確保している。母校実習は、これらの受入数を超過した場合に限っている。
- ・ 指導の方法：教職課程担当教員と各教科の学科の専任教員が実習校との協議及び学生への指導を実施している。
- ・ 事前指導では、模擬授業の際に学生の能力、適性、意欲を確認して、必要に応じて個別指導を実施。
- ・ 教育実習の終了後には、実習生、実習校の指導教員及び大学の教員による報告会、反省会を実施。

<講評>

- ・ 大学として実習校の確保を行っており、実習校との連携が図られており評価できる。

■ 学校現場体験・学校ボランティア活動などの取組状況

<状況>

- ・ 学校ボランティアの実施や地域の活動への参加など、学外での体験活動を通じて地域社会へ貢献する取組を積極的に展開している。

■ 教職指導及びその指導体制の状況

<状況>

（履修指導）

- ・ 前期・後期のオリエンテーション（1年次～4年次）において教職課程のガイダンスを実施。また、教員のオフィスアワーを中心に、学生に対する個別の指導・助言や各種相談を行っている。

（履修指導体制）

- ・ 教職の専任教員3名と、各学科の専任教員により指導を実施。

<講評>

- ・ 履修カルテの活用などを通じて、教職の魅力を学生に伝え、教職を目指す学生が増えるよう努めてほしい。
- ・ 就職センターの業務と、教職指導を一体化して実施してほしい。
- ・ 正規職員の採用の増加に努めてほしい。

■ 教員養成カリキュラム委員会などの全学的組織の状況

<状況>

- ・「教職・学芸員課程運営委員会」を設置。教職・学芸員課程主任、教職課程教員、各学部・学科及び研究科から選出された教員、教務部長を含めて24名で構成。
- ・教育実習を含めた教職課程全般について、全学的な立場から計画・運営・指導を定期的に行う。

■ 施設・設備（図書等を含む。）の状況

<講評>

- ・情報機器等は十分整備されている。
- ・教科に関する科目に係る設備が充実している。
- ・図書の整備については、高等学校の新学習指導要領、岡山県全体をカバーできる教科書、特別支援教育（特に発達障害）に関する図書の整備が不十分であるため、その改善に努めてほしい。